

本年度の学校評価

本年度の 重点目標	『常に高い志（目標）を持ち、実践していくと共に一つ上を目指す』 ～グローバル人材・リーダーの育成に努める～		
項目(担当)	重点項目	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T Aとの連携を図り、学校と保護者とが協力して円滑に教育活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A役員会・委員会で、役員・委員が積極的に意見交換できる場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A役員会等の連絡が早めに保護者に届くように余裕を持って準備する。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績処理だけでなく、調査書や指導要録の作成にも校務支援システムを活用する。 ・ 生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアル説明を実施し、わかりやすく、間違いが起こりにくい方法を検討する。 ・ 学習時間調査や考査の統計資料を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの入力が円滑にすすめられるように、教育情報部とも連携する。 ・ 各学年で学習と生活の記録を活用させてもらう。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の交通マナーを向上させ、交通事故件数を減少させる。 ・ 生徒自ら規律を守り、元気に挨拶できる意識を育てる。 ・ いじめの未然防止に係る取組を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの命を守るための啓発活動、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。 ・ 指導日と日常指導の両面から意識の向上を図る。 ・ いじめ防止をテーマとした活動機会を設ける。アンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを守ることができない生徒が出てきた場合は、自転車通学の禁止も視野に入れて指導をおこなう。 ・ 身だしなみ指導の具体的基準の見直しと徹底を図る。また、全職員が同じ意識のもとで生徒への声かけを実施する。 ・ いじめのない学校、生徒個々が成長できる人間関係の構築を目指す。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の観点を持った進路指導を行う。 ・ 3年間を見通し、生徒にとってより有意義な進路指導の体制を整備する。 ・ 学年団と連携のとれた進路指導の体制を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「職業ガイダンス」「大学出張講義」「看護実習」等を行い、生徒の勤労観や進路意識の向上を図る。 ・ 進路に関する情報を教員にも積極的に提供し進路について理解を深める場を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ L Tおよび総合的な学習の時間と連携し、将来にわたって、自ら学ぶ姿勢を持った生徒を育成するための効果的な方法を検討する。 ・ 「進路だより」の発行や進路資料室の掲示物などで、進路情報を知らせる。 ・ 新旧3年情報交換会や検討会などの内容を充実させる。 ・ 学力テストの成績分析を行う。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校環境の維持・改善を図る。 ・ 施設・設備の安全を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃活動を充実させ、清掃点検を実施する。 ・ 安全点検を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各清掃場所に監督を配置し、清掃が不十分な場所には改善を求める。 ・ 危険箇所が発見された場合は、迅速に改善する。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な情報発信を行う。 ・ 図書館利用の啓発を図る。 ・ I C T機器の効果的な活用法を研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校案内やホームページで効果的に情報発信する ・ 読書会や図書館だよりで、生徒の啓発に努める。 ・ I C T機器の利用法を研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページについては定期更新とともに、情報を速やかにアップする。 ・ 生徒に図書館だよりを作成させ、生徒目線の内容になるように努める。 ・ 授業での利用を意識した I C Tの利用法を紹介し、より効果的な授業展開の一助とする。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体が活気溢れる行事を企画運営する。 ・ 生徒会活動を活発化する。 ・ 部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事の質の向上を図る。 ・ 生徒自身による各委員会を開催する。 ・ 部活動への側面支援と指導を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分掌から学校全体への情報発信、全職員への役割分担の整理と円滑な運営をし、学校全体で行事に取り組む雰囲気作りをする。 ・ 生徒主体で活動する機会の増加を図る。 ・ 部顧問と積極的に連携協力をする。
学校関係者評価を実施する項目 主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導、進学指導の充実状況について。 ・ 学校行事、部活動の充実状況について。 ・ 本校に期待することについて。 	

前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	校訓「百練自得」のもと、知・徳・体の調和のとれた青少年を育成する。 — 「通いたい、通わせたい、通ってよかったと思える学校」づくり —		
項目(担当)	重点項目	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T Aとのさらなる温かいコミュニケーションを図る。 ・ 式典の厳粛な進行を継続させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A役員会・委員会で、役員・委員との意見交換の場を設ける。 ・ 式典に臨む態度を全職員が協力し向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A関係行事への保護者参加率は昨年度よりもさらに増加した。引き続き努力したい。 ・ 生徒の式典参加態度がよくなっている現状を維持し、今後は生徒自らが意識するように工夫したい。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習習慣の定着（1，2年生は週20時間、3年生は週30時間以上）と生徒の学力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習時間調査結果の有効的な活用 ・ 考査欠点科目数、平均点などの統計資料の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年会と協力して、学習時間調査結果データを分析し、生徒に還元する。 ・ 各教科会で生徒の学力向上について検討し、実践する。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の交通マナーを向上させる。 ・ 活力ある学校生活を送るために、生徒自ら規律を守り、元気に挨拶できる意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの命は自分で守るための啓発活動と、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。 ・ 身だしなみ指導日と日常の声かけ指導の両面から意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 並進走行、斜め横断、右側通行の禁止など安全に対する意識向上は未だ課題である。近隣の方々からの意見が減少すれば、交通事故件数も減少するのではないかな。 ・ 身だしなみについては、整った制服の着こなしが必要な集合する場面、職員室への入室など、各自の意識向上はまだ足りない。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の観点を持ち、生徒に進路意識をもたせる。 ・ 3年間を通じた進路指導体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業ガイダンス、大学出張講義、総合的な学習の時間を利用し、勤労観や進路意識の向上を図る。 ・ 進路に関する情報を随時提供し検討会等で進路について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は職業ガイダンスを通し、将来のことを考えようとする兆しが見えるようになった。 ・ 2年生は大学の先生による出張講義を聞き、進路意識が向上した。 ・ 3年生は社会人講話を聞き、進路だよりを読み、前向きに将来を考えるようになった。 ・ 教員間の進学に対する意識が高まった。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に対する意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「保健だより」を用いる。 ・ 「文化の集い」の委員会活動で健康に関する発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「保健だより」配布や「文化の集い」発表を通じて、生徒と家庭、生徒同士、さらには生徒と教職員で健康に関する情報が共有でき、それぞれの健康に対する意識が向上した。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校紹介の充実。 ・ 図書館利用の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校案内の作成、およびホームページを利用して、定期的に学校情報を発信する。 ・ 図書館情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校案内を一新し、より中学生及び保護者に強くアピールすることができた。 ・ ホームページの更新については、積極的に行ったが、一部不十分なところがあった。来年は定期更新を含め、更新を活発に行いたい。 ・ 積極的に図書を紹介を行ったが、利用者数に反映しなかった。利用者増の方法を考えたい。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体が活気溢れる行事の企画運営。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の充実感・達成感を醸成する。 ・ 参加生徒数を増加させ、大会結果をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国大会、東海大会、県大会などの上位大会に非常に多くの部活動が出場できた。 ・ 生徒会執行部を中心に校内美化活動を行った。今後も継続していきたい。
総合評価	<p>各分掌とも、重点目標の達成に向けてよく努力した。学業と部活動を両立させた生徒が多く、進学実績が向上するとともに、県大会以上の成績を収める部活動も増加し、学校全体に活気があった。しかし、登下校中の交通マナーで御指摘を受けることも多く、さらなる指導が必要である。</p>		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、進学指導の充実状況について ・学校行事、部活動の充実状況について ・生徒の規範意識の高揚について
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒や保護者の要望として、また進学校として「国公立大学合格者数 100 名以上を目指す」ことが、本校としての一つの目標であり使命である。今年度もその目標を達成することができた。 ・「開かれた学校づくり」を目指す上でも、HP の更新を頻繁に行い、学校行事の報告や部活動の試合結果等、学校の情報公開に努めた。 ・自転車通学者の交通事故や、交通マナーについて地域住民からのご指摘がまだ多く、更なる指導が必要とされる。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートから「本校に期待する項目」として、「わかりやすい授業」「学力向上」「進路指導の充実」が例年上位を占める。このアンケート結果を全職員が共有し、高い意識を持って日々の授業に取り組む。 ・生徒の交通事故防止、交通マナーの向上を目指した指導体制を整える。
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観を通じて、活気のある授業を見ることができた。先生も生徒も熱心に授業に取り組んでいる。 ・部活動がよく頑張っている。 ・交通マナーについては、先生方が立っているところはよいので、生徒の意識の向上をお願いしたい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員 4 名（保護者代表を含む） ・評価時期・・・2月下旬

(5) 経営管理上の問題点

ア 生徒数、自転車通学者数が多く、登下校時の交通事故が心配される。警察と連携を取り、特に自転車の交通マナーの向上を図りたい。

イ 職員の年齢構成において、50 歳代と若年層が多く、現職教育や校務分掌において将来のミドルリーダーの育成を図ることが本校の課題である。